

令和3年度 ボランティア活動報告書

なぎさの和



社会福祉法人東京栄和会 なぎさ和楽苑

ご挨拶



地域に開かれた施設として江戸川区有地の無償貸与の恩恵の下に開設した当苑は、この地で41年を迎えることができました。高齢者福祉の地域拠点を目指して、ネットワーク作りを推進し、地域とともに歩む姿勢を大切に取り組んでおります。令和3年度も、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、入居者にとっても不安な日々を過ごしなが、長期間にわたる感染予防対応を強いられる事態が続きました。

これまでも、当苑には小さなお子さまから高齢者まで、幅の広い方々とのふれあいも多く、ボランティア活動においては、延べ5000名を超える方々にご支援をいただいております。入居者をはじめ、在宅サービスご利用の皆様にとりましても、潤いとやさしさあふれる時間をお過ごしいただくことができていました。その貴重なひとときが、コロナ禍において途絶えてしまった現状について、入居者、サービス利用者にとって、大変寂しい時間を過ごしておられるのではないかと感じております。

そのようなコロナ禍において「オンラインボランティア」という、新たな取り組みにも力を入れてまいりました。令和3年度は公益財団法人キリン福祉財団様より助成を受け、「地域と施設を繋ぐオンラインボランティア」の取り組みとして地域の方、学生、企業など多方面の方々とオンラインを通じた積極的な交流活動を展開しました。実施していく中では、オンラインが苦手な方、環境が整わないなど、見えてきた課題は、次年度の活動にもつなげたいと考えております。

また、なかなか対面が叶わない中ですが、限られた行事へのご協力にも快くお引き受けいただき、ボランティアの皆様による創意工夫を凝らした活動には、入居者のみならずそのご家族も喜んでいただくことができました。これまでと変わらず我が事のように当苑を考えていただけていることに、ボランティアの皆様をはじめ、地域の方々に支えられている施設であることを実感しています。

新たなボランティア活動も踏まえた実績報告と、これまで通り安心して触れ合えるボランティア活動ができる環境によって、入居者の皆様の笑顔が少しでも早く見られることを願いながら、お一人おひとりのご奉仕活動に感謝を込めて、令和3年度のボランティア活動報告書をまとめさせていただきました。

人と人との支えあい、そして多くのご縁を大切にしたい施設であり続けられるよう職員一同、邁進してまいります。

令和4年4月1日

社会福祉法人東京栄和会 **なぎさ和楽苑**

苑長 池田 めぐみ

オンラインボランティア紹介

施設に訪問しなくてもご自宅で活動することが可能なプログラム「オンラインボランティア」。オンライン上での活動となるため直接会うことはできませんが、心が通じ合っていることを実感できる活動です。幅広い地域の皆様とご一緒することができました。

赤ちゃん&ママさんとの交流



入居者様はかわいい赤ちゃんにメロメロです。また子育て奮闘中のママさんにアドバイスをする方もいらっしゃいました。

好きな色に塗り、ステッカーを貼り、世界に一つのお面を作りました♪

制作活動 【狐のお面】



オンライン散歩体験 【葛西臨海公園】



葛西臨海公園にいるボランティアの方々とオンラインで繋いで、散歩気分を味わえる活動です。

オンラインでの箏の演奏



素敵な箏の演奏にうっとり♪リクエストにも応えてくださいます。

オンライン歌声談話室



毎月ショートステイの利用者様にきれいな歌声を届けてくださっているのは歌声談話室の皆さん。

三宅島と繋いで詩の朗読



三宅島にお住まいのボランティアの方が詩の朗読を披露してくださいました。

オンラインでの紙芝居



昔公園で食い入るように見ていた紙芝居がオンラインで画面に!

学生の皆さんと交流&体操



学生さんも一緒に体操をしています。「疲れていませんか?」「無理しないでくださいね」といった優しい声掛けが印象的でした。

留学生との取り組み



留学生の方々と繋ぎ母国語と日本語のクイズ大会を行いました。

高校生がオンライン傾聴



夏休みを利用し、回想法を導入したオンラインでの傾聴ボランティアにチャレンジしてくださった学生さんもいます。

オンラインで旅行ができる♪



東京福祉専門学校の皆さんが企画してくださったのは「オンライン島根県旅行」。出雲大社のお参りや、旅のしおりやお土産もあり、本当に現地に行った気分になりました。

ウクレレ演奏



オンラインでウクレレを演奏してくださったのは深津さんと原田さん。

体操・ストレッチ

インストラクターの先生と繋ぎ、全身のストレッチや脳トレなどを行っています。

一般企業の社員の皆さんと繋いで



多くの一般企業の方々ともオンラインで繋がることができました。継続的な取り組みに繋がっています。

新たな活動様式で

感染症予防対策からこれまで通りのボランティア活動、地域活動を実施することが難しくなり、新たな様式での活動にチャレンジされている方々がいらっしゃいます。合言葉は“今できることをできる方法で!”

赤い羽根共同募金活動



毎年10月1日に苑内外で実施している赤い羽根共同募金活動。街頭で実施することは難しいため、苑内のみで入居者自治会「みのり会」の方々が募金活動をしてくださいました。



施設周辺の植林剪定

施設周辺の植林剪定をしてくださっているボランティアの方もいらっしゃいます。本格的な草刈り機を使用される方も!

糸の会

これまで長年縫い物ボランティア活動をして下さっていた糸の会様は、現在ご自宅で活動を続けてくださっています。



年末のシーツ交換

新たな年をきれいな寝具で迎えられるようにと、年末に多くのボランティアの皆さんが集まり、活動してくださいました。



オンラインあしたばカフェ

若年性認知症カフェも集合型での実施が難しく、オンラインで開催しています。ご利用者、ご家族だけではなく、ボランティアも参加しています。

スマホ教室に学生ボランティア

地域の熟年者の方を対象に開催しているスマホ教室に、紅葉川高等学校ボランティア部メイブルの皆さんが来てくださっています。



収録型の落語披露



本来は入居者様の目の前で披露いただきたい落語も、現在はビデオカメラで録画し、その映像を保存したDVDを配布しています。

地域交流スペースを彩る装飾

雛人形や五月人形を飾ってくださっているのもボランティアの皆さんです。



若年層とのかかわり

令和3年度は多く子どもたち、学生、学校とかかわりを持つことができた年度でした。柔軟性をもって行えた多世代交流をご紹介します。

新田小学校マーチングバンド



2年ぶりの開催となった新田小学校6年生の皆さんによるマーチングバンドの演奏!

島根県伝統芸能の披露



東京福祉専門学校の学生が島根県の伝統芸能である石見神楽を披露してくださいました。

あたたかい想いのこもったコーヒー



東京福祉専門学校の学生が1階にあるカフェテリア「ブリッサ」で、あたたかいコーヒーを入れてくださいました。

臨海小学校3年生の皆さんと



臨海小学校3年生の皆さんを対象に「認知症サポーター養成講座 & なぎさ和楽苑紹介」を行いました。地域で困っている高齢者の方にどのように声をかけたら良いかをみんなで一緒に考えました。

城西国際大学の学生の皆さんと



城西国際大学の学生の皆さんと繋いでオンラインレクリエーションを実施しました!

オンライン種植え会



東京福祉専門学校の学生とオンライン種植え会を開催いたしました。

中学生の職場体験



職場体験にいらっしゃった中学生を対象に高齢者疑似体験、車椅子体験、認知症勉強会を開催しています。“福祉の心”を伝える活動です。

夏のリモートボランティア

～はなれていても、つながる～

企画1

高齢者福祉施設でオンラインボランティア

「高齢者福祉施設でオンライン特技披露ボランティア」です。夏休みを利用し、中学生が書道の腕前を披露してのクイズ、高校生がギター演奏、大学生がアカペラ披露など、各年代の学生が自宅から特技を披露してくださいました。それぞれの特技に大きな拍手が送られていました。

中学生による書道パフォーマンス



大学生によるアカペラ披露



高校生によるギター演奏



企画2

世界に一つのうちわを作ってお祝いしよう!

2つ目の企画は「世界に一つのうちわを作って敬老の日をお祝いしよう!」です。手作りのうちわを入居者様へ送る企画であり、当苑が毎年9月の「敬老の日」に合わせて開催している「長寿を祝う集い」で、お一人おひとりに記念に配布させていただきます。175枚の想いの詰まった素敵のうちわが届きました。



受け取られた入居者様の様子は次のページで!

9月19日

長寿を祝う 集い

当苑の一大行事である敬老の日にあわせた「長寿を祝う集い」。

感染症予防対策の観点からフロアごとに午前と午後の2部制で式典を開催しました。節目のお祝いの方とご家族を招待して実施し、他の入居者の方はZoomで各フロアから画面を通してご参加いただきました。

式典では、ボランティアの皆様から届いた世界に一つしかない手作りうちわが全入居者様に贈呈され、式典に花を添えました。

また式典後は、日頃から大変お世話になっているボランティア団体たんぽぽ様と糸の会様、そして学生ボランティアの方が作ってくださった写真ブースで、入居者様とご家族の写真を撮影させていただき、ご家族・職員からの直筆メッセージカードとともに長寿のお祝いとして入居者様にプレゼントしました。

アトラクションでは感染症予防対策を徹底した中でのカラオケ大会、新田太鼓様による和太鼓の披露をオンラインで全館に配信しました。上映後は大迫力の演目に感動し涙を流される入居者様もいらっしゃり、大きな拍手が送られ、大盛況の行事となりました。

コロナ禍での開催となりましたが、多くのボランティアの方が手を差し伸べてくださり、改めてボランティアの皆様との繋がりを強く感じ、新たな発想と視点が盛り込まれました。

世界に一つのうちわ



写真ブース



新田太鼓



TOPICS

毎年和太鼓をご披露いただいている新田太鼓様が第70回東京都社会福祉大会の「ボランティア等社会福祉協力者・団体表彰者」の部門で東京都社会福祉協議会会長感謝状を受賞されました。

表彰状と記念品を池田苑長より代表の片桐様にお渡しさせていただきました。

新田太鼓の皆様、本当におめでとうございます！



11月1日～11月14日

介護の日 イベント開催!

平成20年より、11月11日が「介護の日」と定められ、当苑でも日頃介護や福祉に関わりの少ない方々に、少しでも介護について関心を持ってもらう機会になるよう、平成21年からさまざまなイベントを実施しております。令和3年度は「Keep on Smiling☺ Keep on Happiness」をテーマとし、介護を通じて笑顔と幸せを届けることができる企画を11月1日～11月14日の期間で実施しました。



地域住民向けスマホ教室

幅広い世代の方に介護の日の情報を届けようとスマホ教室を開催しました。ボランティアの方々対象でも開催し、多くの方の参加がありました。ボランティア仲間同士でLINEグループを作り情報交換をしているとの報告もいただいています。



介護の日記念コンサート開催!

11月7日には、日頃から活動していたボランティアのShin-Chan&モナチーズの皆さんが来苑し、介護の日記念コンサートを開催しました!

感染症予防対策を講じた中での開催でしたが、介護の日イベントオリジナルソングである「同じ空の下～大切なあなたへ～」も披露され、笑いあり、涙ありの感動のコンサートでした♪



語り部Vボランティアについて語る!

当苑で長年ご活動いただいております、ボランティア団体なぎさグループの代表横内博さんと八代真さんにボランティア観を熱く語っていただきました。YouTubeチャンネルに動画が配信されていますので、ぜひご覧ください!



～なぎさグループ～
なぎさ和楽苑が足立区鹿浜から江戸川区に移転した昭和55年から活動を開始し、今年で41年目を迎える。

学び舎なぎさ～意外と簡単!オンラインボランティア～

7名のボランティアの参加があり、オンラインボランティアの取り組みについてやビデオ会議ツールZoomの使用方法、またオンラインを通して特養入居者の皆様との交流などを行いました。入居者の方が画面に映った際には歓声が沸き、画面に前のめりになり少しでもお話をしたいというボランティアの皆様の姿がとても印象的でした。



ちょこっと文通

ボランティアの皆様へ、日頃の感謝の気持ちと、次に会える日を心待ちにしている気持ちを手紙に込め、お送りしました。



なぎさのフードドライブ

ご家庭に余っている食べきれない食品を持ち寄り、必要としている団体・施設・個人等にフードバンク等を通じてお届けする企画を実施しました。ボランティアの皆様のご協力もあり、多くの地域の方々に食品をお渡しすることができました。



入居者様&利用者様に インタビュー

助成事業の取り組み

都市型軽費老人ホーム JOY なぎさご入居者 島田アヤさん



- 職員** 外出する機会や人と会話する機会が減ってきていると思うのですが、島田さんは日々どのように過ごされていますか？
- 島田さん** 趣味の時代劇をテレビで観たり、脳トレ体操や6階の畑仕事などをして自分なりにメリハリをつけて過ごしています。でも一人で過ごす時間が増えました。
- 職員** そうですね。直接お会いするのは難しいのでボランティアの方とオンラインでの交流やお話をする機会などが増えてくると良いですね。
- 島田さん** 働き盛りの若者たちと話をするのは楽しいですよ。私がこれまで経験してきたことをできるだけ伝えたいと思っています。
- 職員** 特に伝えたいこと、内容などはありますか？
- 島田さん** 一番は健康で生きることがどれだけ大切かということ。苦勞することも必要だと思いますが、体と心が元気じゃなきゃ何もできませんよ。あとは家族や子育てについても力になれるなら私の経験を伝えたいと思っています。
- 職員** 島田さんとお話をしたいと思っている人はたくさんいらっしゃると思います。
- 島田さん** オンラインでよく一般企業に勤めている方とも話をするけど楽しいです。画面上でも相手の方の人となりや人間性はわかりますし、たくさんの方と話をすることで自然と情報が入ってきます。
- 職員** コロナ禍によって、地域や社会にどのような変化が出てきているのか分かりづらくなってきているので貴重な場ですね。
- 島田さん** 本当にそう思います。若者に「家族以外の大人と話すことも大切」ということを伝えたいなと思います。話が止まらなくなっちゃいそうだけど(笑)。
- 職員** ぜひ、たくさん話してください。
- 島田さん** そのような機会がありましたら、いつでも声を掛けてください。

公益財団法人キリン福祉財団「令和3年度キリン・地域のちから応援事業」の助成を受け、【地域と施設をつなぐオンラインボランティア】と題した幅広い地域の方々と施設をオンラインで繋ぎ、新たなボランティアプログラムの構築に注力いたしました。

いただいた助成金はオンラインボランティア活動時に使用する大型液晶テレビ、タブレット端末(ipad&Magic Keyboard)、オンライン用カメラ(Meeting Owl Pro)の購入、また広報用のチラシとパンフレット作成費に活用させていただきました。

オンラインボランティアは入居者様とボランティアの方々が心を通わせ、世代間交流、ネットワークづくり、地域活性化も期待できるプログラムであり、機材や広報活動が充実することでプログラム内容の充実、質の向上に繋がっております。withコロナの時代の新たなボランティアの形として、今後多くの方々の参加を推進するためにも、感染症収束後も継続して取り組んでまいります。

コロナ禍で人と人が繋がることが難しい状況でもオンラインという新たなカタチを見出し、チャレンジすることができたのは、温かいご支援をいただいた多くの地域の皆様、そして公益財団法人キリン福祉財団様、選考委員会の皆様、事務局の皆様、当事業を通して関わってくださった皆様のおかげです。心より厚く御礼を申し上げます。



通所介護ご利用者 川瀬英子さん



- 職員** 川瀬さんは当苑に長く通われていますよね？
- 川瀬さん** はい。もう4年くらいでしょうか。ここは本当に良い人ばかりでいつもアハハ、オホホと楽しく過ごしています。
- 職員** たしかに川瀬さんの周りには笑顔があふれていますよね。
- 川瀬さん** 最近は感染症予防対策から交流する機会が減ってしまい残念なのですが、地域の方と繋いでオンラインや、いただくプレゼントには本当に心が温かくなります。
- 職員** 直接会うことができなくてもボランティアの皆さんと繋がっているのを実感できますよね。
- 川瀬さん** はい。オンライン散歩では学生さんが葛西臨海公園を案内してくださいました。昔よく行っていたので懐かしかったですし、何より学生さんの企画が素晴らしかったです。
- 職員** 皆さんいろいろと工夫を凝らしていらっしゃいますね。特技を披露してくださる方もいらっしゃいます。
- 川瀬さん** オンラインで箏の演奏をしてくださる方もいますよね。昔私も箏をしていたので心が落ち着きます。よく曲をリクエストしています。
- 職員** そのときの気分で聴きたい曲をリクエストする。オンラインならではのですね。
- 川瀬さん** 新しい繋がり方にも少しずつ慣れてきました。楽しませていただいています。いただいたプレゼントも全て自宅に大切に保管しています。手作り作品はやっぱいいですね。
- 職員** はい。ボランティアの皆さんにも伝えますね。
- 川瀬さん** よろしくお願ひします。老後、こんなに幸せでよいのかと毎日思っています。楽しい時間を届けてくださる職員の皆さん、ボランティアの皆さんに感謝です！



募集チラシ



活動パンフレット

コロナ禍でも 変わらない日常を



感染症予防対策によりボランティアの皆様の受け入れを中止せざるを得ない状況が長期間続いております。ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

活動ができない間でもボランティアの皆様からはお手紙やメール、電話等で、入居者様の日々の生活を気に掛け、心配して下さるお声をたくさんいただいております。

このページでは入居者様、職員の日常を切り取った写真を掲載させていただきます。コロナ禍でも元気に楽しく、以前と変わらない日常を過ごしています。ぜひご覧ください！



成人
おめでとう



ステーキ
おいしい!



メリー
クリスマス!!



ボランティアの皆様からの 贈り物

たくさんのボランティアの方々から想いのこもった素敵な贈り物をいただきました。ボランティアの皆様も大変な状況の中にもかかわらず、当苑を気にかけて、このような形でご支援いただけることに心より感謝申し上げます。

手作りの卓上リングカレンダー

居室内で少しでも明るい気持ちになればとボランティアの皆様が、入居者様全員分(120名)のカレンダーを作ってくださいました。それぞれのカードにかわいいイラストやメッセージが書かれています。



手紙・年賀状

入居者様宛てにたくさんのお手紙・年賀状をいただきました。



手作り写真ケース

柄の異なる手作りの写真ケースをいただきました。



手作りビニールガウン・タオル

感染症予防対策で重宝するビニールガウンとタオルをいただきました。



手作りの装飾品

近隣の保育園児の皆さんが季節に合わせた装飾品を届けてくださっています。



※スペースの関係上、ボランティアの皆様からいただいたもの全てを掲載することができませんでした。申し訳ありません。お送りいただきましたものは全て大切に活用させていただいております。

なぎさ和楽苑 公式SNSのご紹介

当苑では公式SNSを開設いたしました。定期的に最新の情報を地域の皆様へ発信しておりますのでぜひご覧ください。

Instagram

苑内の行事や取り組み、ボランティアの皆様への活動報告等を投稿しております。

アカウント名
@nagisawarakuen



こちらからフォローをお願いします!



YouTube

「なぎさ和楽苑特養職員の日【前編】・【後編】」や「福祉用具紹介動画」、「介護の日記念コンサート」等を配信しております。



チャンネル登録はこちらどうぞ!



ボランティア活動実績

敬称略

(延べ人数)

氏名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
足立 静子	あしたば	2	1	2	1	2		1	1	2	1	2	1	16
赤ちゃん先生	オンライン		13			15							21	49
糸の会	繕い物	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
歌声談話室	オンライン	5	5		5		5		5	5	5	4	4	43
大橋 はるえ	手作り作品				1									1
岡本 珠枝	洗濯物								4	6	3			13
小野 一己	行事	1	1	1	1	1		1	1	2		2	1	12
株平安祭典	行事								5					5
川合 利幸	オンライン				1		1	1	1	1	1	1	1	8
工藤 恵美	洗濯物								3	4	2			9
小池 市太郎	写真							2						2
小池 和彦	あしたば			1										1
小坂 成子	演奏		3								2	2		7
篠原 拓生	落語				2			2		2			2	8
城西国際大学	オンライン			25					25					50
城 もも	手作り作品						1							1
Shin-Chan	コンサート								5					5
新田太鼓	行事						13							13
芹川 令子	あしたば	2	1	2	1	2		2	1		1	2	1	15
セガサミーホールディングス株式会社	オンライン												4	4
たんぼぼ	行事・フロア			1	2	6	12						42	63
千倉 洋子	オンライン			1		1	1	1						4
都月 次郎さん	オンライン				1	1								2
デロイトトーマツ合同会社	オンライン								3		15			18
東京福祉専門学校	オンライン・行事		23			4	12		20		8	8		75
なぎさグループ														
・佐々木 和子	シーツ										1			1
・島田 光枝	シーツ										1			1
・山崎 麻衣	シーツ										1			1
・横内 博	シーツ										1			1
・吉野 弘子	洗濯物									2	2	1		5
・日比野 由香	シーツ										1			1
夏のリモートボランティア	イベント					9	63							72
林家 きよ彦	落語												1	1
原田 倫子	ウクレレ										1	1		2

氏名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハンズオン東京	オンライン		4	6	2				2					14
平澤 紀美子	シーツ									1				1
深津 由貴子	ウクレレ									1	1		1	3
福島 聖世	オンライン												2	2
ホープリング	オンライン							3			3			6
松原 有咲	オンライン					1								1
三菱UFJ銀行	オンライン	28												28
紅葉川高校	イベント									4				4
山岸 義也	あしたば	2	1	2	1	1			1		1	2	1	12
山中 信子	あしたば	2		1	1	2		1	1	2	1	2	1	14
合計		48	58	48	25	51	114	20	86	43	52	31	90	666

介護サポーター(江戸川区内の熟年者の社会参加と介護予防を促進するための活動)

氏名	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
施設系														
梅原 光子	シーツ交換									1				1
大矢 洋子	シーツ交換									1				1
小林 日出子	洗濯物								5	4	3			12
斉藤 重雄	シーツ交換									1				1
中山 玉恵	洗濯物								4	5	2			11
西野 小夜子	シーツ交換									1				1
畠中 美智子	シーツ交換									1				1
橋本 敦恵	洗濯物								4	4	4			12
諸岡 聖治	洗濯物								5	7	7			19
山澤 繁子	園芸								11	5	2			18
生活系														
大石 かつ子	事務								1	2		1	2	6
片瀬 悦寛	事務							2	3	2		1	1	9
林 俊夫	事務								2	1		1		4
船富 剛	事務									4		2		6
山口 こず江	事務									4			2	6
和田 敦子	事務									2		2		4
合計		0	0	0	0	0	0	2	35	45	18	7	5	112

一般	48	58	48	25	51	114	20	86	43	52	31	90	666
介護サポーター	0	0	0	0	0	0	2	35	45	18	7	5	112
合計	48	58	48	25	51	114	22	121	88	70	38	95	778

— 令和4年度活動計画 —

地域と共生する施設へ向けて

地域福祉の拠点として、なぎさ和楽苑はボランティアや地域の活動を支え、また、支えられてまいりました。地域の皆様との交流を基に、情報収集・発信も盛んに行われ、高齢者福祉施設の枠を越え、あらゆる世代、職業の方等との交流も行われております。意図して創るもの、意図せずして創られるもの、各々を貴重な体験としながら、なぎさ和楽苑が地域福祉の拠点となるよう努力を続けてまいります。

ボランティア活動

1. ボランティア受け入れに関する施設側の体制整備

- ① **ボランティア担当職員の位置づけ、施設職員としての関わり方**
各セクションのボランティア担当職員を中心に、利用者・ボランティア双方のニーズの発見及び意見収集を行います。毎月行っているボランティア担当打ち合わせで、担当者間の共通理解、課題の早期発見・解決を図り、セクションへのタイムリーな情報提供及び調整に努めます。
- ② **ボランティアとの情報共有の強化**
個人情報の保護・守秘義務に配慮した上で、利用者の情報提供を適宜行い、利用者・ボランティア双方の安心及び安全に配慮いたします。
- ③ **職員へのボランティア教育の場を設け、ボランティア活動への理解を促進**
ボランティアと協働してきた当苑の歩みに理解を深め、施設職員としての自覚・共通理解を持ってボランティアを迎えるための研修を設け、利用者・ボランティア・施設の三者にとって、意義のある活動を模索します(新任職員研修・中堅職員研修等)。

2. 活動展開

- ① **新規ボランティアの受け入れ**
新たなボランティアの受け入れ推進のために、広報紙やチラシ等での紙面発行とホームページや SNS ツール等の電子媒体を駆使し、積極的なボランティア募集活動に努めます。
- ② **“無理なく細く長く”活動できる個別の調整**
コロナ禍による長期的なボランティア活動中断により、心身ともに体調を崩す方や、これまでの活動を継続することに難しさを感じ、ボランティア活動自体をやめてしまうこと等が想定されます。“無理なく細く長く”活動を続けられるよう、ボランティアのニーズ把握に努め、活動内容を個別に調整します。
- ③ **リモートボランティアプログラムの推進**
感染症予防対策から、利用者と直接関わるボランティア活動再開には時間を要することが想定されます。コロナ禍での活動の一つとして「ご自宅で行えるボランティア活動(リモートボランティア)」の受け入れを推進してまいります(キリン福祉財団助成事業活用)。特にオンラインでの活動に気軽に参加できる体制整備を促進してまいります。

- ④ **さまざまな世代のボランティア受け入れ**
学生や子育て世代といった若年層のボランティアや、65歳以上で江戸川区の研修を受講し登録した介護サポーター等を積極的に受け入れることにより、幅広い世代の方々が高齢者福祉に関心を高めていただくと同時に、ボランティア同士や、高齢者との交流の場の提供を進めてまいります。また各世代のボランティアが継続的かつ組織的に活動していただけるような調整、工夫をいたします。

3. ボランティアとの繋がり強化

- ① **ボランティアの状態把握・ニーズ調査**
感染症予防対策により活動が制限され、ひとりひとりのボランティアと直接会っての活動の聞き取りが難しくなっています。ボランティア個々の活動、生活でお困りのこと等の状態把握、ニーズ調査等に注力してまいります。状況により、迅速に熟年相談室へ繋げる等、臨機応変な対応をいたします。
- ② **ボランティア同士、職員と繋がる機会の創出**
コロナ禍による人と人の繋がり希薄化により、当苑を介して生まれていたボランティア同士、職員等との繋がりを持つ機会が減少しています。活動中断により直接会えない時期でも、広報誌の定期発刊や SNSでの情報発信等の取り組みにより、お互いが繋がっていることを実感することができる取り組みや情報共有に努めてまいります。

4. リスクマネジメント

- ① **ボランティア活動に対するリスクマネジメント(ボランティア保険加入)**
ボランティア活動の中で、予測されるリスクを施設・職員全体で把握し、事故を未然に防いでまいります。特に感染症予防対策については、具体的な対策を講じ、ボランティアが安全かつ安心して活動ができる環境整備に努めてまいります。万一事故が起きた場合には、迅速に対応が出来るように、事前に『ボランティア保険』へ加入していただくよう働きかけます。



令和4(2022年)年度 ボランティア行事予定表

開催期	内容
6月期	ボランティア活動報告書「なぎさの和」発行
8月期	夏休みボランティア体験(地域の中・高生対象)
9月期	長寿を祝う集い
11月期	介護の日
12月期	ボランティア感謝の集い(交流会形式)

— ボランティアの皆様へ感謝を込めて —



2階 潮騒・小波担当
中村 朋樹

令和3年の10月からボランティア担当となりました2階の中村朋樹と申します。たくさんの食器洗いや、ベランダの植物の水やり、また入居者の話を傾聴して下さったり、環境を少しでもきれいにしたいと掃除をして下さるなど、感謝もしきれないです。入居者からも「また会いたい」「いつ来てくれるんだろう」といった声をいただいております。コロナ禍の状況となりいかがお過ごしでしょうか。私たちなぎさ和楽苑職員一同並びに入居者は共に健康に過ごしております。コロナにも波があり100人台まで減った際に、もうそろそろ会うことができるかと期待しておりましたが、なかなか思い通りにいかないこともあるのだと感じました。コロナにもさまざまな種類があり、感染リスクが今までと比べ高いこともあり、入居者職員共に感染予防に努めております。なぎさ和楽苑ではそれもあってか感染者も少なく生活できております。今はお会いすることが難しい環境ですが、コロナが落ち着く希望を持ちながら、またお会いできる日が来ることを、首を長くしてお待ちしております。



2階 汐音・浜風担当
阿戸 匠

ボランティアの皆さんお久しぶりです。今日に至るまでのコロナ禍で、生活スタイルも、大きくも小さくも変わったことありますが、和楽苑の入居者も職員も、みんな元気で過ごしています。ボランティア喫茶やレクリエーション活動がなく、寂しいと話される入居者の方もいますが、皆さんからいただいた手紙を読んで、「懐かしいな!」「また会いたいなあ」と喜ぶ姿もあり、入居者職員一同、皆さんを恋しく感じています。シーツ交換をしているのは、「手際よく、綺麗なシーツ交換がありがたかったな」、食器を洗っているのは、「しっかりと、綺麗に洗っていただいていたんだなあ」と皆さんの活動のありがたみを感じています。コロナ禍が続く、ボランティア活動再開の目途が立たない日々が続きますが、今までの皆さんの活動を通していただいた思いや気持ちを忘れることなく、今後も皆さんに感謝していきたいです。いまだ行く先が見えない世の中ではありますが、コロナ禍が落ち着き、また明るい日々が来たときに、皆さんと会えることを心から待ち望んでいます!



3階 水仙・桔梗担当
田窪 吉一

昨年の9月より2ABから3ABへ異動になりました、田窪と申します。コロナ禍という未曾有の状況に見舞われてから、大変な世の中に虐げられ、毎日ピリピリと恐怖を感じながら過ごしております。さぞかしボランティアの皆様方も同じく恐怖や苦しみを感じていらっしゃると思います。活動ができない昨今、いかがお過ごしでしょうか? コロナに負けず、前向きな姿勢で取り組んでいらっしゃるのでしょうか? 「心の持ちよう一つで、どうにでもなる」と言います。いったんボランティア活動から離れて、考えるきっかけにもなったのではないのでしょうか。ボランティアの精神は後々自分自身に戻ってくると言われております。ぜひコロナ禍に負けず、ボランティア精神の火を灯し続けていただきたい。ボランティアの皆様方といろいろな関係を通して懐かしく思い出されます。どうかご自愛ください。コロナが収束し、皆様方とお会いできる日を心待ちにしております。



3階 百合・蘭担当
齊田 梨央

ボランティアの皆様、いつもお世話になっております。「ボランティア活動をしよう!」と思って下さるお気持ち、行動がとても励みになります。皆様笑顔でなぎさ和楽苑に来て下さると、入居者のみならず、私たち職員も明るい気持ちになれます。ボランティア活動では、直接の関わり、掃除などもございますが、どの活動も皆様の支えがあってできていることです。コロナ禍でボランティア活動が中止されている期間、そのことを実感しております。外出・面会が制限されている中、「誰かとお話したい」「外出をしたい」と入居者の方も仰っています。今までの何気ない日々を過ごすことが難しく、ストレスに感じることもあるかと思っております。早く元通りの生活ができるようになったら、皆さんは何をしたいですか?好きなことを好きなだけできる日々が早く訪れますように。そのためには、たくさん食べて笑って…体に気を付けることも大切ですね。今もなお、ボランティア活動の再開も難しい状況が続いておりますが、皆様とお会いできる日を心待ちにしております。



4階 花水木・山茶花担当
田鍋 美穂

新型コロナウイルスが流行し、ボランティアの皆様がなぎさ和楽苑へ来苑できなくなり、はや2年が経ちました。2年前は、ボランティアの皆様へ喫茶、シーツ交換、食器片付け、傾聴ボランティア、またコンサート等、入居者だけではなく、職員の手伝いもしていただいております。今すごく感じるのは、ボランティアの皆様のご存在の大きさとありがたさ、そして、入居者の気分転換する時間を作っていただいた意義も大きく、感謝しかありません。ボランティアの皆様が、「外出したり、なぎさ和楽苑に来苑したりはできないが、何かできないか」と、いろいろと考えてくださっていることに、毎回大変うれしく感謝しています。日々感染者が増えたり減ったりしておりますが、ボランティアの皆様も体調を崩さないように、感染症対応をしっかりし、またなぎさ和楽苑にボランティアに来ていただける日を、入居者皆さんと首を長くして、そして元気で会いできるのを楽しみにしております。また会える日まで、入居者と職員力を合わせて、一日一日を過ごしていきます。



5階 鷗・千鳥担当
高橋 千晶

皆様いかがお過ごしでしょうか。私たち職員も体調管理に努め、日々気を付けております。コロナウイルスの蔓延で会えない日が続いており寂しく思っております。なかなか活動が難しいコロナ禍でも、心のこもった手作りのカレンダー、うちわ、色紙、繕い物の作成、園芸のお手入れなど、本当にありがとうございます。日々私たちはボランティアの皆様を支えられているのだと感じております。コロナの流行に伴い、関わり方や活動の仕方など大きく変わっていきましたが、その中でも今できる活動に関わっていただけることを大変うれしく思っております。リモートでの関わりも少しずつ増えてきており、会える日もそう遠くないのかなと期待してしまっていますが、今までのようにはいかないことが残念で仕方ありません。以前のようにユニットに足を運んでいただき、職員、入居者とお話ししたり、お散歩したり、同じ時間を過ごしていけることを夢に見て、私たちボランティア担当は今できることを精一杯頑張ります。またお互い元気にお会いしましょう!



4階 短期入所担当
鹿野 弾

去年皆様に書いていただいたアンケート内容をボランティア担当で読ませていただきました。コロナの影響で思い通りの活動ができなかったことを書いている方が多数いました。それは活動できなかった不満ではなく、自身が気付かない間にコロナに感染し利用者にうつしてしまわないかを心配される声で、相手のことを気遣っている理由がとても印象に残りました。ボランティアの根本にある「相手のことを思う気持ち」がそのような回答になっているのだと感じ、コロナ禍でボランティアの皆様も大変な中、利用者の方々に対し何かをして差し上げたいと思っております。その気持ちに本当に頭が下がる思いです。コロナが去り、早く皆様と以前のような活動をしたいと思っております。しかしニュースでも語られているように、コロナは無くならないのかもしれない。以前のように「は難しいかもしれませんが、私はこれから皆様と「新しいボランティアの形」を考えていけることにワクワクしています。withコロナが進んでいく中で、それはきっとなぎさ和楽苑のボランティアの基礎になるからです。



通所介護担当
大場 美雪

新型コロナウイルスによる影響で大変な状況ではございますが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。コロナ禍になってはや2年、ふれあいホール・くつろぎの間では皆様のご協力のおかげで、お会いできないながらもオンラインボランティア様とお話しする機会をいただいております。箏やウクレレによる音楽や体操、紙芝居の朗読などさまざまな形で利用者様を楽しませてくださり誠にありがとうございます。皆様楽しまれている中で少なからず聞こえてくるのは「会って直接お話がしたいね」というお声です。以前のようにボランティア様や利用者様、われわれ職員が輪になって一緒に活動を行ったり、何気なくお話しして笑いあったり、皆様で歌ったり、そういったことができない現状を非常に寂しく思います。皆様に元気で再びお会いできることを願っております。ボランティア活動が再開された暁には、また一緒に笑顔で過ごしましょう。

ボランティア担当職員より



地域連携推進係

釜島 豪顕

2021年度は延べ778名のボランティアの方に活動していただきました。ボランティアの皆様、当苑の運営にご理解とご協力をいただき、善意の想いのこもったボランティア活動、本当にありがとうございました。また当苑の入居者様のことを思い、活動を自粛して下さっていた方も多くいらっしゃると思います。あわせまして厚く御礼申し上げます。

世間では少しずつ感染症予防対策が緩和され、「withコロナ」の生活様式が浸透してきておりますが、高齢者福祉施設はまた一線を画す存在であると感じております。ボランティアの皆様の受け入れを一日も早く再開し、入居者様の生活を支える活動をお願いしたい気持ちはやまやまですが、入居者様、ボランティアの皆様双方にとっての「安心・安全」を考えると二の足を踏んでしまいます…。ご理解いただけますと幸いです。

また、「ボランティア」だけが当苑と皆様が繋がるカタチではないと感じております。日々の生活の中でお困りのことがありましたらお気軽にご相談いただければと思いますし、「こんなことはできないか」といったご意見がありましたら、どしどしご連絡いただければと思います。

ボランティア活動ができないことによって、皆様とのせっかくのご縁が切れてしまうのは当苑にとって一番避けたいことです。恩返しではありませんが、これまで長年支えてくださったボランティアの皆様に対して、当苑がお力になれることも多分にあると思います。ボランティア活動と一緒に“細く長く”これからも繋がり続けていければと思いますので、末永くよろしくお願いたします。



地域連携推進係

中村 達也

ボランティアの皆様、いつも大変お世話になっております。改めてのご挨拶となりますが、以前にボランティア担当を務めさせていただいておりました中村達也と申します。

この度7月1日より釜島連携推進係から引き継ぎまして、本格的にボランティア担当として始動することになりました。地域連携推進係については、なぎさ楽苑の「顔」と言っても過言ではないほどの重要な役割を担うのだと実感しており、名誉である一方、スケールの大きさに戸惑いを隠せないところも、正直な心境であります。

現在は4ABユニットで介護員として勤務をしております、今年で8年目を迎えました。今までの勤務期間の中でボランティアの皆様と携わる機会が多くありましたが、最近はコロナの影響で、お会いできる機会がほとんどなく、とても残念であるのと、寂しさを感じております。ボランティアの皆様が来苑すると、私たちもさることながら利用者の皆様もとても喜ばれておりましたので、再開を待ち遠しく感じている方も多いように思います。また、ボランティアの皆様との志と、今までのご尽力がどれだけ大きなものであったかを改めて痛感する2年間でした。

このコロナ禍による活動の自粛の中、皆様には多大なご迷惑をお掛けしていることと存じております。皆様の活動の場が失われていくことは全く遺憾でありますので、私たちが共に問題に向かい合い、どう道筋を立てていくかが、今後の課題であると感じております。

これから皆様と共に協力し合い、コロナ禍でもできる新しい形での活動に目を向けることと、受け入れの再開に向けて精一杯取り組んでまいります。まだまだ至らないことが多くありますが、前任の担当者に近づけるよう日々精進してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

何より、一日も早くお会いできる日を心待ちにしております。

令和3年度 ボランティア活動報告書

なぎさの和

発行 令和4年7月15日
発行者 社会福祉法人 東京栄和会 なぎさ楽苑
苑長 池田 めぐみ

住所 東京都江戸川区西葛西 8-1-1
電話 03-3675-1201
FAX 03-3675-1203
Eメール info@tokyoeiwakai.or.jp
ホームページ <http://www.tokyoeiwakai.or.jp>
制作 株式会社 明光企画 (047-396-2211)

